

4 教育研究の組織

進捗状況報告

08年度は法政学会60周年に当たり、各界で活躍されている法学部卒業生をお招きして学生向けの講演会を連続開催している。条件が許すならば、こうしてつながりを得た方々との連絡を維持し、外部アドバイザリー制度につなぐことができないか検討している。また、教育組織としては、経法連携コースの発足にともない、現役官僚等自治体実務に造詣の深い教員を新たに迎え、社会との連携をより意識した教育を進める体制の構築に向かっている。

学内第三者評価

法学部卒業生との連携により外部アドバイザリー制度を構築することは、外部からの意見、提言を聴き、それを法学部のこれからの教育・研究に生かしていく上で極めて有益なことである。外部アドバイザリー制度の実現が期待される。経法連携コースの発足により、自治体実務に長けた教員の増員が行われたが、このことにより、社会との連携推進の進展が期待される。

なお、学外委員からは以下の意見があった。
外部からの意見・評価・提言を聴取するための仕組みや、実務に詳しい人材の登用などは、意義深く、引き続き進められることが期待される。